

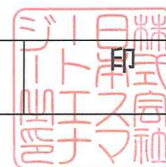
環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成24年3月13日

## 検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名	
中央物産株式会社伊勢原ロジスティクスセンター(神奈川県伊勢原市)における、照明の高効率化による温室効果ガス排出削減プロジェクト	
GHG 検証機関	
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。	
機関名	株式会社日本スマートエナジー
担当部署名	審査部
責任者名	審査部長 尾石 裕行
責任者 E-mail	<a href="mailto:oishi@smart-energy.jp">oishi@smart-energy.jp</a>
責任者電話番号	03-3591-3012
審査員名 <sup>1</sup>	尾石 裕行
機関要件への合致	オフセット・クレジット(J-VER)制度における温室効果ガス(GHG) 妥当性確認・検証機関の暫定的な登録要件を満たしている。(対象方法論:E001~E026)
検証報告書発行日	平成 24 年 3 月 13 日
検証結果	
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver.2.0
検証期間	平成24年1月10日～ 平成24年3月13日
現地審査	期間 平成24年3月7日



		<p>概要把握段階において、プロジェクト計画書、モニタリング計画書および本事業に係るパブコメ資料一式を入手してデスクレビューを実施し事業把握を行った。その上で今回のモニタリング期間に係るモニタリング報告書を入手し算定を確認したところ、モニタリング計画書において適用されていた電力のCO2排出係数がモニタリング報告ガイドラインの規定と異なるものであったため、係数修正のプロジェクト計画書の再承認を待ち、検証を再開した。</p> <p>本プロジェクトの排出削減事業実施者である中央物産㈱の伊勢原ロジスティクスセンターを訪問し、プロジェクト計画書の通りに高効率のHf蛍光灯が導入され、また中央物産㈱にヒアリングを行い、就業規則に変更はなく、モニタリングプラン通りに就業規則に基づき照明稼働時間が正確に把握・集計されていることを確認した。</p>				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2	—	—	—	46	—
検証結果の要約		<p>オリックス株式会社と中央物産株式会社による照明更新事業に対し、提出されたモニタリング報告書に基づき、検証業務を実施した。当社は、事業者が作成したモニタリング報告書は、オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則、モニタリング方法ガイドライン(排出削減プロジェクト用)Ver.3.0、排出削減ポジティブリスト・方法論(E004Ver.6.1)に依拠して作成されており、全ての重要な点に関し適切であると認める。</p>				

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。